

# STEAMCREAM®

## STEAMCREAM Ingredients Dictionary

<b>STEAMCREAM Ingredients Dictionary</b>	<b>1</b>
アーモンド油	3
アルガンオイル(アルガニアスピノサ核油)	3
アロエベラ葉汁	4
アロエベラ葉水	4
オリーブ葉発酵エキス(ガラクトミセス/オリーブ葉発酵エキス)	5
オレンジ果実エキス	5
カカオ脂	6
カラスムギ穀粒	6
カラスムギ穀粒エキス	7
カラスムギ穀粒油	7
グリチルリチン酸2K	8
グレープシード油	8
ザクロ果皮エキス	9
ザクロ種子油	9
ジャスミンエキス(マツリカ花エキス)	9
シュガースクワラン®	10
シア脂	10
スイゼンジノリ多糖体	11
スダチ果皮エキス	11
セージ葉エキス	12
ダマスクバラ花エキス	12
ダマスクバラ花ロウ	13
月見草油	13
ツバキ種子油	13
ツバキ花エキス	14
ヒアルロン酸Na	14
ホホバ種子油	14
マカデミアナッツ脂肪酸フィトステリル	15
マカデミアナッツ種子油	15

マカデミアナッツバター/(マカデミア種子油/水添マカデミア種子油)エステルズ	15
モモ花エキス	16
モリンガバター((モリンガ油/水添モリンガ油)エステルズ)	16
ヤグルマギク花エキス	17
ユズ果実エキス	17
ユズ種子油	17



## アーモンド油



古代ギリシャ時代にはすでに美容に愛用されていた、といわれるアーモンド油。皮脂にも含まれる脂肪酸であるオレイン酸を多く含み、また粘性のある心地よい肌当たりから乾燥や紫外線のケアからマッサージのトリートメントオイルと幅広く用いられていました。オレイン酸をふんだんに含むことで肌との親和性が高い植物オイルです。高い保湿力で幅広い年齢のケアに利用できます。

## アルガンオイル(アルガニアスピノサ核油)



モロッコ南西部にしか育たないとされるアルガンツリー。砂漠の中に生息し、地中深くまで根を張って、水分と栄養を蓄えます。1年間雨が降らずとも生き続ける生命力溢れたこの木を「生命力の木」と呼ぶのだそうです。

アルガンオイルに含まれるオレイン酸やリノール酸は美肌効果も高いとされ、皮脂組成に近い成分構成となっていることから角層までスムーズに浸透し、これによりうるおい溢れるハリ肌へ導きます。

アルガンオイルはビタミンE( $\gamma$ -トコフェロール)の含有量が高く、その量はオリーブオイルの3倍といわれています。ビタミンEは乾燥による肌のトーンダウンや紫外線によるざらつきを予防し健やかな肌へと導きます。

## アロエベラ葉汁



ゲル状のアロエの果肉から得られるアロエベラ葉汁。  
熱を感じるような強い日射しや紫外線を浴びた後の肌がかさつきやうるおい不足の状態に陥らないよう健やかに導きます。  
紫外線の影響を受けて、ターンオーバーが乱れやすい夏は肌のうるおいバランスも乱れやすくなります。そんな肌に寄り添い、うるおいのある健康な肌作りをサポートします。  
昔から民間療法として活用されてきたアロエベラは切り傷、やけど、虫刺されにも良いといれ、身近にあるお手入れアイテムとして必要とされてきました。

※アロエベラ葉汁のアロエはワシントン条約には抵触しない原料です。

## アロエベラ葉水

アロエベラ葉の果肉を加水分解して得られた水分。太陽をいっぱい浴びて育ったアロエの持つみずみずしさのもとをそのまま回収した天然の化粧品用精製水です。加水分解することで、髪の毛や肌への馴染みを良くしています。保湿効果があります。(角質内部にうるおいを与える)

## オリーブ葉発酵エキス(ガラクトミセス/オリーブ葉発酵エキス)



オリーブの葉から得られるエキスに天然酵母ガラクトミセスを加えて作られたオリーブ葉発酵エキス。

オリーブの葉に含まれるポリフェノールと酵母の働きによって肌のキメを改善し、毛穴悩みを和らげることが期待できます。

肌に潤いを与え、肌のキメを整え滑らかにするほか肌をふっくらとさせてハリを与えます。

長年に渡って健康と美容に良いとされるオリーブですが、注目される背景の1つにはポリフェノールの含有量の高さがあります。ポリフェノールには肌の柔軟性を高め、若々しい艶やかな肌を維持する働きが期待できます。

## オレンジ果実エキス

ビタミンCを多く含み、爽やかな柑橘のフレーバーをもつオレンジは人気のフルーツです。オレンジ果実エキスはオレンジの果実を圧搾して得られる植物抽出エキスです。

肌にやわらかさをもたらす効果が期待され、クリームを塗った際の保湿効果を助けます。

## カカオ脂



アフリカでは千年以上前から肌を保護するバターとして用いられてきました。強い紫外線による過酷な環境下にさらされた髪や肌を守っていた、といわれています。皮膚になじみがよく、柔軟効果に優れています。およそ32~35℃の体温で溶けてしまいます。カカオ脂は肌をやわらかくし、艶々とした輝きある肌を作ります。角質のお手入れにも効果を発揮しますので、ごわつきや硬くなりがちなパーツにも、しっかりうるおいを届けます。

## カラスムギ穀粒



オーツ麦はカラスムギともよばれ、古くはローマ時代から肌の保湿と保護に使用されてきた歴史がある天然原料です。スチームクリームの代名詞でもあるオートミールは、オーツ麦を食べやすく加工したものを指します。肌をやわらかく整え、うるおいを抱えた健やかな肌を育む効果があります。

## カラスムギ穀粒エキス



カラスムギ穀粒エキスは、オーツ麦の種子から抽出溶剤(BG)を用いて得られた植物エキスです。

※スチームクリームに配合されているカラスムギ穀粒(オーツミルク)とは抽出方法が異なります。

紀元前2000年頃の古代エジプト時代にはすでに存在していたとされるオーツ麦は長い歴史の中においても食や健康を支える貴重な穀物でした。肌をやわらかく整え、角層にすばやく浸透するように働きます。これにより、肌内部のうるおいを支える角層に水分を蓄えさせ、しっとりやわらかな肌を作る手助けをします。

## カラスムギ穀粒油



古代から民間療法としても使われる、ビタミンE、たんぱく質、アミノ酸を多く含む原料。肌にやわらかさをもたらします。

カラスムギ穀粒油はオートミールの全粒から得られる植物油です。近年、FDA(アメリカ食品医薬品局)での肌への親和性の高さが実証された素晴らしい原料で、スチームクリームを代表する原料でもあります。

肌への親和性が高いことから、ベビー用品にも多様されるようになったオートミールオイルは肌なじみがよく、肌をなめらかに整え、うるおいのある肌へと整えます。

## グリチルリチン酸2K



グリチルリチン酸2Kは、多年草の植物リコリスの根茎や根から得られる成分です。カンゾウ根エキスの主成分グリチルリチン酸の誘導体で強力な抗炎症作用をもちます。リコリスは甘草(カンゾウ)ともよばれ、漢方として長年用いられ、その歴史は古代中国まで遡ります。

砂糖の数倍の甘味をもつことから、お菓子やリキュールにも使われます。

リコリスには、肌荒れを予防する効果があるとされ、育毛剤や歯磨き粉の成分としても用いられます。

スキンケアに用いると、肌表面の汚れが引き起こす毛穴周りの皮脂酸化を予防し清潔に保ちます。

## グレープシード油



グレープシードオイルはブドウの種から圧搾して抽出されます。蒸留後に残ったブドウの種をよく洗って乾燥させ、細かく挽き、圧搾させます。まさにワインの副産物とよべるサステイナブルな原料です。

テクスチャーが軽く、毛穴に詰まりにくいのが特徴でニキビのある人も含め、万人向けのオイルといわれ、ビタミンEを豊富に含むことで、ニキビ跡のケアにも人気のオイルです。

グレープシードオイルはビタミンEやポリフェノールを多く含み、ごわつき硬くなった肌をやわらかく導きます。肌内部に水分を届け、ハリをもたらします。

## ザクロ果皮エキス



ザクロ果皮エキスは、厚さ2~3mmのざくろの果皮から得られるエキスです。日本や中国ではザクロ果皮を煮出し、漢方薬としても用いられてきました。

ザクロ果皮エキスには、ビタミンCやエラグ酸といったハリのある生き生きとした肌を育む働きがあります。みずみずしく実ったザクロのようにうるおいある肌を求める方におすすめの原料です。

女性ホルモン様作用や肌に必要なコラーゲンを分解してしまう酵素の1種であるコラゲナーゼの抑制作用が期待されます。コラゲナーゼを抑制することで、お肌のハリを保ちます。

## ザクロ種子油

ザクロの果実を割ると、中にはたくさんのみずみずしく赤々とした種子が現れます。この種子から得られたザクロ種子油には肌を柔らかくし、うるおいの浸透と抱える力があります。

## ジャスミンエキス(マツリカ花エキス)



小さく透明感あふれる純白の花から得られるエキス。  
肌をやわらかくしなやかに導きます。

## シュガースクワラン®



サトウキビを圧搾した際の搾りかすから得られるサステイナブルなスクワラン。  
感触・保湿性にすぐれ、肌になじみやすく、肌の上をスーッとすべるような伸びの良さを実感  
できます。

シュガースクワラン®はサトウキビから得られる原料で、ブラジルの広大な畑で栽培された  
サトウキビから抽出した糖を発酵させ、培養するため、安定供給が可能となっています。再  
生可能な植物原料を使用し、地球環境にやさしく、バイオ技術を駆使した製法で供給量に制  
限がない、といわれています。

## シア脂



シア脂はシアの木になる実の種子から得られる固形のバター。常温では固形ですが、体温に近い温度(35℃前後)でとろりと溶けだし、肌表面にうるおいの膜を作ります。リッチなテクスチャーやドライスキンを予防するために選ばれました。皮脂分泌を整え、保湿バランスを崩した肌に適切なうるおいを作るように働きかけます。乾燥した肌にもしっかりとなじみ、うるおいのヴェールを作り柔らかな肌へと導きます。

## スイゼンジノリ多糖体

福岡県または熊本県の養殖場で作られた養殖スイゼンジノリを使っています。スイゼンジノリ多糖体の保水力は、保湿成分として有名なヒアルロン酸の5倍以上あるといわれ、うるおいのヴェールで肌を覆い、しっとり肌を整えます。

熊本大学 社会環境工学科の水質環境学研究室の発表によると...  
「特別天然記念物であるスイゼンジノリは、いまや絶滅危惧種(環境省レッドデータデータIA種)に指定され、発生地とされる熊本市の江津湖ではすでに絶滅、県内でも嘉島町をはじめとするわずかの場所で細々と栽培されるまでになっています。一方、スイゼンジノリの生育に関する学術的知見は少なく、何故これほどまでにその数が減ったのか、いまだよく分からない点も多いと考えます。」

福岡県または熊本県の養殖場で作られた養殖スイゼンジノリです。これは天然スイゼンジノリではありません。養殖で育てたスイゼンジノリを用いており、種の保存という視点においては、環境配慮型の原料であるといえます。

## スダチ果皮エキス



南フランスの気候に似ているといわれる徳島県産のスダチの皮から抽出されたエキス。スダチ特有のポリフェノールを豊かに含みます。肌のキメを整え、乾燥を防いでうるおいを保ちます。スダチ果皮エキスは「マイクロ波抽出」でエッセンシャルオイルを抽出した際の副産物として得られる100%ピュアなエキスです。

## セージ葉エキス



シソ科の植物、セージから得られた植物エキス。古代ギリシャ時代から伝統的にメディカルハーブとして用いられてきた歴史ある原料です。乾燥により肌を守る力が低下したことで誘発される肌荒れを予防し、清潔に健やかな状態を保つよう助けます。

古代ギリシャの医者ヒポクラテスはセージの治癒力に着目し「万能薬」や「長寿の薬」と表現したと伝えられています。

## ダマスクバラ花エキス



ダマスクローズの花びらの中に存在する有効成分を取り出したダマスクバラ花エキス。健やかな肌の育みを助ける力を授け、いつまでも若々しさを感じるハリとツヤのある肌へと導きます。

健やかな肌作りを助けることにより、日射しによる肌への負担や乾燥を予防する働きが期待できます。

## ダマスクバラ花ロウ

ダマスクローズの花びらの中にはわずかにロウが含まれています。

ひんやりとした夜明けに朝露に包まれても花びらが生き活きとし、つややかでしっとりした状態であるのは、このローズロウの働きが作用していることが考えられます。

このロウは溶剤抽出法を用いて精油を抽出する際に溶剤の中に一緒に溶かし出されてきます。ダマスクローズの芳香成分とともに抽出されることから、ローズロウもわずかに香りもちます。

肌にうるおいをもたらし、うるおいのヴェールを作ることで乾燥から肌をまもります。

## 月見草油



植物にはめったに出現しないとされる不飽和脂肪酸である $\gamma$ -リノレン酸を含み、肌に適切なうるおいを与え、保湿力を高めます。

肌が健やかに育ち、うるおいを抱えたみずみずしいハリのある肌へと導くといわれています。また、肌を保護する力が弱まった肌を助け、肌荒れを予防します。

## ツバキ種子油



オレイン酸の含有量が高く、高い保湿効果が期待できます。これにより、乾燥した肌にしっかりとしたうるおいを与えます。

## ツバキ花エキス

冬に咲き、寒さという環境ストレスに強い椿の花から取れた天然由来原料。椿から得られるツバキ花エキスには抗酸化活性作用があるといわれ、花粉・埃・PM2.5などの大気汚染や環境などの外的ストレスから肌を守り、肌本来がもつ健やかな肌へ導く力があるといわれています。

## ヒアルロン酸Na

ヒアルロン酸Naとは高い保湿力を持ち、植物オイルとは違ったしっとりとした質感をもたらす成分です。肌なじみがよく、角層の水分量を高める手助けをします。

1gで2~6Lの水分保持力があると言われています。濃度によって粘度やテクスチャー、質感に差が出ます。乳酸球菌による発酵法により製造されています。

## ホホバ種子油



ホホバ種子油はアメリカの南部からメキシコに渡って存在する砂漠に育つホホバツリーの種子から圧搾・精製して得られる植物性のロウです。乾燥した肌に油分を補い、水分の蒸発を防いで肌荒れを予防します。浸透性が高くべたつかない使用感を持ち、気温が7℃以下で固まります。

手触りが軽く、さらりとしたテクスチャーのこのオイルはヒトの皮脂に最も近いオイルと称され、すべての肌タイプに保湿ケアに使用できます。強い日射しを浴びた髪をうるおいで守ることからヘアオイルとしても人気です。

## マカデミアナッツ脂肪酸フィトステリル



マカデミアナッツには赤ちゃんの肌に豊富に存在するパルミトレイン酸を豊富に含まれることから、「若さの脂肪酸」と呼ばれ、ツヤとうるおいのある肌づくりを助ける効果が注目されている原料です。

## マカデミアナッツ種子油

マカデミアナッツオイルは、ヒトの皮脂の脂肪酸組成に類似しているため、肌なじみに優れています。

肌にのせるとすっとなじんで消えてしまうことから「バニシングオイル(消えて見えなくなるオイル)」とよばれています。うるおいを必要とする乾燥肌に素早く浸透します。肌荒れを予防し、うるおいを抱えたやわらか肌へと導きます。

## マカデミアナッツバター/(マカデミア種子油/水添マカデミア種子油)エステルズ

マカデミアナッツバターは軽い感触で伸びがよく肌なじみが良いバター。その伸びの良さからマッサージにも多く活用されています。伸びが良い一方で、ベタつきがなくサラッとしたつけ心地であることからスキンケアとしてマカデミアナッツバターそのものを保湿クリームに使う人もいます。

## モモ花エキス



冬から春に向かって美しく開花する桃の花のように、外的環境の影響を受けても健やかな肌状態へと導くモモ花エキス。外からの刺激に負けない肌のために、ざらつきのないやわらかな肌へと整える力もちます。

外気に直接触れる素肌をまもり、うるおいを与えキメを整えることで健やかな状態へと整えます。

## モリンガバター（(モリンガ油/水添モリンガ油)エステルズ）



約5000年前からアーユルヴェーダで用いられていた伝統医学の歴史に名を刻むモリンガ。「300の病気を防ぐ」といわれ、食とスキンケアを通して健やかなライフスタイルを支え続けています。

モリンガバターはモリンガの種子から得られるオイルをバター状に製法したもので高いエモリエント効果が期待できます。肌への密着力が高いことから、冬に起こるキメの乱れた肌へうるおいをもたらす力を高めます。

## ヤグルマギク花エキス

ヤグルマギクはその花の形が「矢車」に似ていることからこのような名前と呼ばれるようになり、コーンフラワーとも呼ばれています。

ヤグルマギク花エキスには収斂効果があるとされ、肌を清潔に整え肌荒れ予防が期待され、同時に保湿効果にも優れ、うるおい不足の肌を助けます。その効果から、化粧品の多くに用いられています。

## ユズ果実エキス



ユズ果実エキスはゆずの果肉から得られるエキスです。ゆずの果肉から得られるユズ果実エキスにはグルコシルセラミド(※)が含まれ、植物由来のセラミドの中ではもっともヒト型セラミドに近いといわれています。これにより、角質内部にうるおいを与え、乾燥によるごわつきを改善させ健やかな肌作りを行います。

※グルコシルセラミドとは

グルコシルセラミドは表皮内の基底層から顆粒層に存在します。ターンオーバーによってグルコシルセラミドは角層に到着したときにセラミドに変わります。

## ユズ種子油

ユズ種子油はゆずの種から得られる植物オイルです。オメガ6、オメガ9脂肪酸として知られているリノール酸やオレイン酸を多く含むことから、肌なじみが良く優れているほか、肌を整えて柔軟性を与えます。

肌の保湿力が高まることで、外的刺激を受けにくい肌作りが期待できます。乾燥によって刺激を感じやすい肌にうるおいを届け、健やかな肌作りを助けます。